

自立活動の個別の指導計画を作成するための情報整理シート

- 1 実態把握 ※障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活で見られる長所やよさ、課題等について
情報収集し、自立活動の区分に即して整理する

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
●できないこと・難しいこと						
◎支援があればできること						

●できないこと・難しいこと

◎できること

○支援があればできること

- 2 課題の抽出 ※抽出された課題は、四角で囲んだりアンダーラインを引いたりする
＜目標設定につながる「課題」としては捉えない視点の例＞

- 「できること」で、本人の強みとして生かすことができること
- 日常に般化できる見通しが立つ段階にあること
- 「支援があればできること」で、現状を維持していくことが妥当であること
- 数年間指導して、習得に至らなかったこと
- 「3年後に目指す姿」との関連が弱いと判断されること



残った実態
↓
抽出された
課題

- 3 課題同士の関連の整理と中心的な課題の明確化

4 指導仮説

5 指導目標

指導目標 (年間目標)	
----------------	--

6 必要な項目の選定と具体的な指導内容の設定

短期目標 (学期)	
--------------	--

※指導目標を達成するために必要な項目を選定する



図	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
項目						

※選定した項目を関連付けて具体的な指導内容を設定する

指導 内容				
項目				
指導 場面				